

大阪市の推計人口年報（令和5年）

～令和5年10月1日現在の推計人口と1年間の人口異動の動向～

令和5年11月

大阪市計画調整局

目 次

1	人 口 総 数	1
2	男 女 別 人 口	1
3	世 帯 数	2
4	行 政 区 別 人 口	2
5	行 政 区 別 世 帯 数	5
6	人 口 異 動	7
7	年 齢 別 人 口	12

《利用上の注意》

・推計方法について

推計人口（毎月1日現在）は、平成24年7月までは「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の増減を国勢調査結果の人口に加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の増減を加減して算出している。本資料は令和2年国勢調査結果による推計人口である。

・人口異動について

推計人口においては出生と死亡の差を自然動態（自然増減）とし、転入と転出の差にその他の増減を加減したものを社会動態（社会増減）とした。その他の増減とは、実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数である。転入、転出は市内の行政区相互間を含んでいる。

人口異動の自然増減率、出生率、死亡率、社会増減率、転入率、転出率は、前年10月1日現在の人口1000人に対する割合（千分比）である。※ 単位：‰（パーミル）

・年齢別人口について

年齢別人口は、平成24年7月までは国勢調査結果の年齢、男女別人口を基準に、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出し、平成24年8月以降は外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出した。

1 人口総数

令和5年10月1日の大阪市の人口は277万520人で、前年10月1日と比べると、1万3713人(0.5%)の増加となった。

表1 人口の推移

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
平成25年	2,678,663	4,509	0.2
26年	2,679,808	1,145	0.0
27年	2,691,185	11,377	0.4
28年	2,702,316	11,131	0.4
29年	2,713,725	11,409	0.4
30年	2,725,855	12,130	0.4
令和元年	2,741,336	15,481	0.6
2年	2,752,412	11,076	0.4
3年	2,750,835	△ 1,577	△ 0.1
4年	2,756,807	5,972	0.2
5年	2,770,520	13,713	0.5

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

2 男女別人口

令和5年の人口を男女別にみると、男性が133万2998人、女性が143万7522人となっている。

男女別の人口を令和4年と比べると、男性が6256人(0.5%)増、女性が7457人(0.5%)増であった。人口性比(女性100人に対する男性の数)は92.7となっている。

表2 男女別人口の推移

年次	男(人)		女(人)		性比
		増減数(人)		増減数(人)	
平成25年	1,297,931	1,191	1,380,732	3,318	94.0
26年	1,297,452	△ 479	1,382,356	1,624	93.9
27年	1,302,562	5,110	1,388,623	6,267	93.8
28年	1,307,086	4,524	1,395,230	6,607	93.7
29年	1,311,137	4,051	1,402,588	7,358	93.5
30年	1,315,517	4,380	1,410,338	7,750	93.3
令和元年	1,321,926	6,409	1,419,410	9,072	93.1
2年	1,326,875	4,949	1,425,537	6,127	93.1
3年	1,324,466	△ 2,409	1,426,369	832	92.9
4年	1,326,742	2,276	1,430,065	3,696	92.8
5年	1,332,998	6,256	1,437,522	7,457	92.7

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

3 世帯数

令和5年の世帯数は153万572世帯であり、令和4年と比べると、2万4323世帯（1.6%）の増加となっている。

1世帯当たり人員は減少傾向にあり、令和4年の1.83人からさらに減少し、令和5年では1.81人となった。

表3 世帯数の推移

年次	世帯数			1世帯当たり 人員（人）
	（世帯）	増減数（世帯）	増減率（%）	
平成25年	1,338,910	6,908	0.5	2.00
26年	1,345,055	6,145	0.5	1.99
27年	1,354,793	9,738	0.7	1.99
28年	1,375,843	21,050	1.6	1.96
29年	1,397,243	21,400	1.6	1.94
30年	1,419,499	22,256	1.6	1.92
令和元年	1,446,298	26,799	1.9	1.90
2年	1,469,718	23,420	1.6	1.87
3年	1,483,413	13,695	0.9	1.85
4年	1,506,249	22,836	1.5	1.83
5年	1,530,572	24,323	1.6	1.81

太字は国勢調査結果による世帯数。その他は各年10月1日現在の推計人口による世帯数。

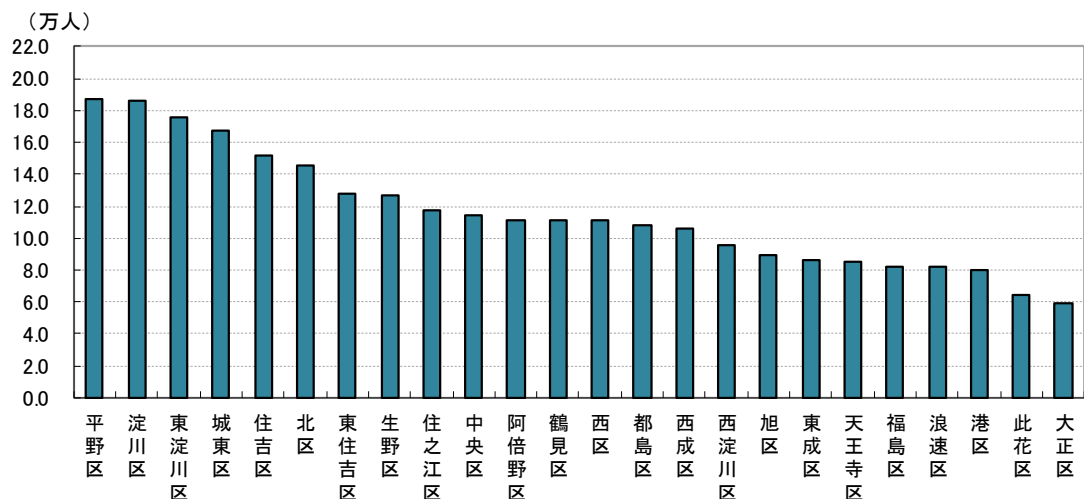
4 行政区別人口

令和5年の人口を行政区別にみると、平野区が18万6843人と最も多く、次いで淀川区が18万5709人、東淀川区が17万6134人と続いている。

この1年間の人口増減数をみると、増加数は中央区が3683人と最も多く、次いで浪速区が2742人、北区が2488人と、引き続き市域中心部が増加している。減少数は平野区が1365人と最も多く、次いで大正区が880人、城東区が660人と続いている。

人口増減率をみると、増加率は浪速区が3.5%と最も高く、次いで中央区が3.3%、西区が2.2%と、人口増加数と同様に市域中心部で高くなっている。減少率は大正区が1.5%と最も高く、次いで此花区が1.0%、平野区が0.7%と続いている。

図1 行政区別の人口



令和5年10月1日現在推計人口による。

表 4 - 1 行政区別の人口

行政区名	人口 (人)		対前年 (令和 4 年)	
	令和 5 年	令和 4 年	増減数 (人)	増減率 (%)
大 阪 市	2,770,520	2,756,807	13,713	0.5
北 区	145,226	142,738	2,488	1.7
都 島 区	108,441	107,826	615	0.6
福 島 区	81,975	80,348	1,627	2.0
此 花 区	64,050	64,687	△ 637	△ 1.0
中 央 区	113,954	110,271	3,683	3.3
西 区	110,780	108,402	2,378	2.2
港 区	79,656	79,469	187	0.2
大 正 区	59,465	60,345	△ 880	△ 1.5
天 王 寺 区	85,291	84,310	981	1.2
浪 速 区	81,855	79,113	2,742	3.5
西 淀 川 区	95,865	95,436	429	0.4
淀 川 区	185,709	184,414	1,295	0.7
東 淀 川 区	176,134	175,806	328	0.2
東 成 区	85,871	85,514	357	0.4
生 野 区	126,789	126,741	48	0.0
旭 区	89,200	88,872	328	0.4
城 東 区	167,409	168,069	△ 660	△ 0.4
鶴 見 区	111,533	111,612	△ 79	△ 0.1
阿 倍 野 区	111,565	111,563	2	0.0
住 之 江 区	117,159	117,595	△ 436	△ 0.4
住 吉 区	152,088	152,080	8	0.0
東 住 吉 区	127,880	127,384	496	0.4
平 野 区	186,843	188,208	△ 1,365	△ 0.7
西 成 区	105,782	106,004	△ 222	△ 0.2

各年10月1日現在推計人口。

表 4-2 人口増加数（上位 7 区）

順位	令和 2 年～ 3 年		令和 3 年～ 4 年		令和 4 年～ 5 年	
	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）
1	中央区	3,278	中央区	3,267	中央区	3,683
2	浪速区	1,359	浪速区	2,250	浪速区	2,742
3	北区	1,330	北区	2,032	北区	2,488
4	西区	1,055	西区	1,485	西区	2,378
5	天王寺区	939	天王寺区	1,223	福島区	1,627
6	福島区	516	淀川区	964	淀川区	1,295
7	阿倍野区	301	西成区	558	天王寺区	981

表 4-3 人口減少数（上位 7 区）

順位	令和 2 年～ 3 年		令和 3 年～ 4 年		令和 4 年～ 5 年	
	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）
1	平野区	△ 1,986	平野区	△ 1,958	平野区	△ 1,365
2	住之江区	△ 1,340	住之江区	△ 1,137	大正区	△ 880
3	東淀川区	△ 1,081	大正区	△ 1,011	城東区	△ 660
4	港区	△ 970	城東区	△ 693	此花区	△ 637
5	大正区	△ 727	鶴見区	△ 607	住之江区	△ 436
6	西成区	△ 665	港区	△ 509	西成区	△ 222
7	生野区	△ 645	住吉区	△ 392	鶴見区	△ 79

表 4-4 人口増加率（上位 7 区）

順位	令和 2 年～ 3 年		令和 3 年～ 4 年		令和 4 年～ 5 年	
	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）
1	中央区	3.2	中央区	3.1	浪速区	3.5
2	浪速区	1.8	浪速区	2.9	中央区	3.3
3	天王寺区	1.1	天王寺区	1.5	西区	2.2
4	西区	1.0	北区	1.4	福島区	2.0
5	北区	1.0	西区	1.4	北区	1.7
6	福島区	0.7	福島区	0.6	天王寺区	1.2
7	東成区	0.3	西成区	0.5	淀川区	0.7

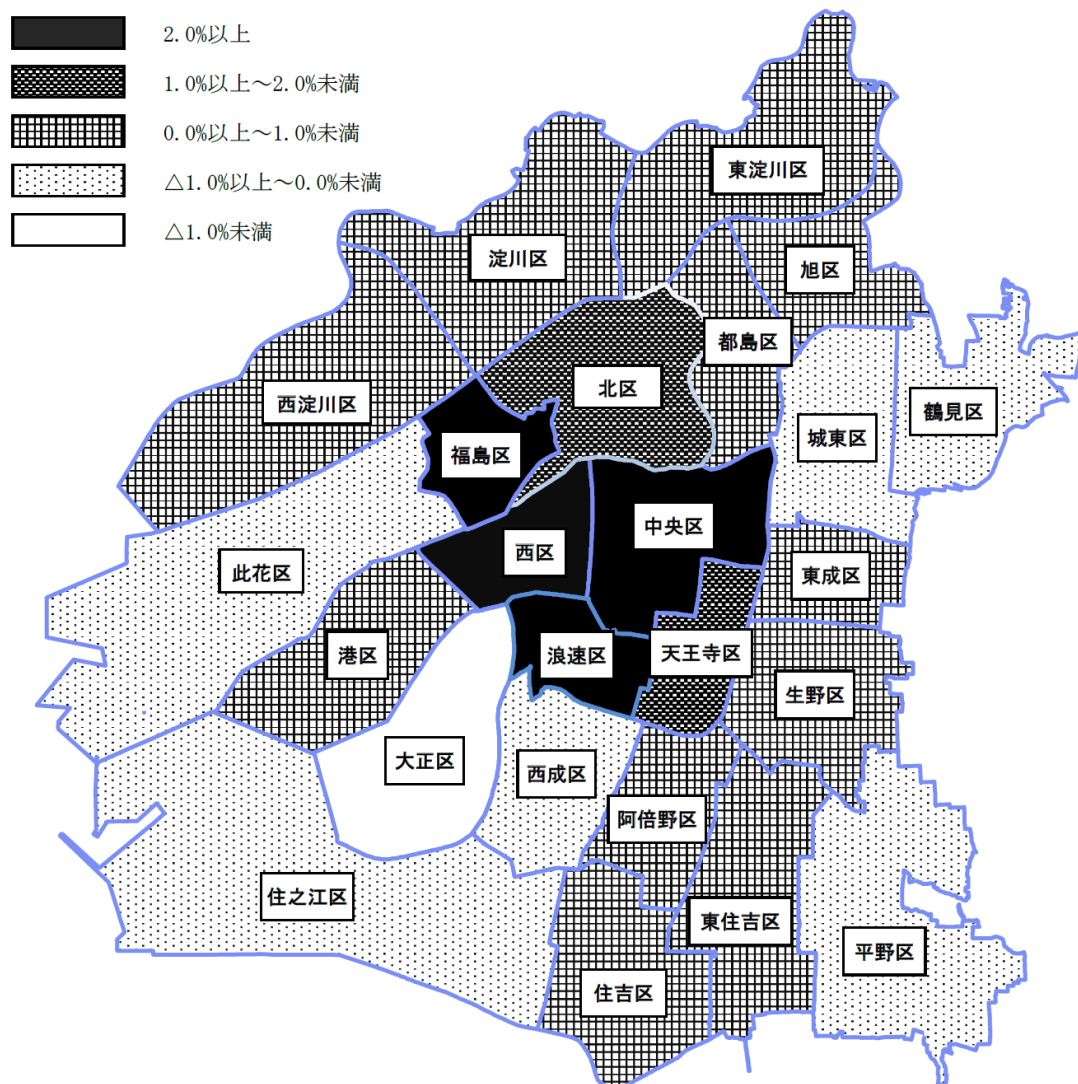
表 4-5 人口減少率（上位 7 区）

順位	令和 2 年～ 3 年		令和 3 年～ 4 年		令和 4 年～ 5 年	
	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）
1	港区	△ 1.2	大正区	△ 1.6	大正区	△ 1.5
2	大正区	△ 1.2	平野区	△ 1.0	此花区	△ 1.0
3	住之江区	△ 1.1	住之江区	△ 1.0	平野区	△ 0.7
4	平野区	△ 1.0	港区	△ 0.6	城東区	△ 0.4
5	此花区	△ 0.7	鶴見区	△ 0.5	住之江区	△ 0.4
6	西成区	△ 0.6	城東区	△ 0.4	西成区	△ 0.2
7	東淀川区	△ 0.6	旭区	△ 0.4	鶴見区	△ 0.1

1 令和 2 年は国勢調査による人口。

2 令和 3 年以降は 10 月 1 日現在の推計人口。

図2 行政区別人口増減率の分布（令和4年～令和5年）



5 行政区別世帯数

令和5年の世帯数を行政区別にみると、淀川区が10万8677世帯と最も多く、次いで東淀川区が10万2012世帯、平野区が9万3989世帯と続いている。世帯数が最も少ない行政区は大正区の2万9687世帯で、次いで此花区が3万2661世帯、港区が4万3591世帯と続いている。

この1年間の世帯数の増減数をみると、浪速区が2602世帯と最も多く、次いで中央区が2490世帯、北区が2085世帯と続いており、全24区のうち22区で増加となっている。

世帯数の増減率をみると、浪速区が4.5%と最も高く、次いで中央区が3.4%、福島区及び西区が3.1%と、市域中心部で高くなっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.24人と最も多く、次いで阿倍野区が2.02人、大正区が2.00人と続いている。一方、1世帯当たり人員が最も少ない行政区は浪速区の1.37人であり、次いで中央区が1.52人、西成区が1.56人と続いている。

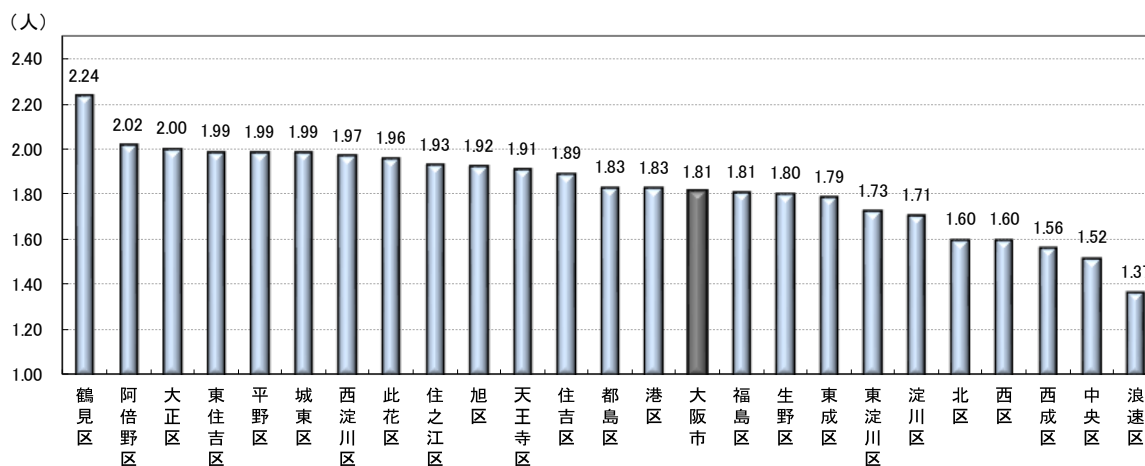
表5-1 行政区別世帯数

行政区	世帯数（世帯）		対前年（令和4年）		1世帯当たり 人員（人）
	令和5年	令和4年	増減数（世帯）	増減率（%）	令和5年
大阪市	1,530,572	1,506,249	24,323	1.6	1.81
北区	90,774	88,689	2,085	2.4	1.60
都島区	59,278	58,135	1,143	2.0	1.83
福島区	45,333	43,957	1,376	3.1	1.81
此花区	32,661	32,699	△38	△0.1	1.96
中央区	75,007	72,517	2,490	3.4	1.52
西区	69,264	67,188	2,076	3.1	1.60
港区	43,591	42,888	703	1.6	1.83
大正区	29,687	29,807	△120	△0.4	2.00
天王寺区	44,688	43,959	729	1.7	1.91
浪速区	59,879	57,277	2,602	4.5	1.37
西淀川区	48,677	47,610	1,067	2.2	1.97
淀川区	108,677	106,754	1,923	1.8	1.71
東淀川区	102,012	100,916	1,096	1.1	1.73
東成区	48,013	47,220	793	1.7	1.79
生野区	70,346	69,352	994	1.4	1.80
旭区	46,370	45,617	753	1.7	1.92
城東区	84,229	83,697	532	0.6	1.99
鶴見区	49,880	49,480	400	0.8	2.24
阿倍野区	55,252	54,703	549	1.0	2.02
住之江区	60,687	60,105	582	1.0	1.93
住吉区	80,285	79,359	926	1.2	1.89
東住吉区	64,285	63,209	1,076	1.7	1.99
平野区	93,989	93,540	449	0.5	1.99
西成区	67,708	67,571	137	0.2	1.56

表5-2 世帯数及び1世帯当たり世帯人員（上位・下位5区）

世帯数（世帯）				1世帯当たり世帯人員（人）			
上位5区		下位5区		上位5区		下位5区	
淀川区	108,677	大正区	29,687	鶴見区	2.24	浪速区	1.37
東淀川区	102,012	此花区	32,661	阿倍野区	2.02	中央区	1.52
平野区	93,989	港区	43,591	大正区	2.00	西成区	1.56
北区	90,774	天王寺区	44,688	東住吉区	1.99	西区	1.60
城東区	84,229	福島区	45,333	平野区	1.99	北区	1.60

図3 行政区別1世帯当たり世帯人員



令和5年10月1日現在推計人口による。

6 人口異動（前年 10 月中から当年 9 月中の合計）

(1) 自然動態

令和 5 年の自然動態（出生と死亡の差）は 1 万 5792 人の減少となり、令和 4 年の自然動態（1 万 5290 人減）と比べると、減少幅は 502 人拡大した。また、自然増減率は 5.7%減となっている。

自然増減数を行政区別にみると、増加数は中央区が 285 人と最も多く、次いで西区が 238 人、北区が 146 人と、3 区で増加となっている。減少数は西成区が 2452 人と最も多く、次いで平野区が 1809 人、生野区が 1369 人と続いている。

自然増減率では、増加率は中央区が 2.6%と最も高く、次いで西区が 2.2%、北区が 1.0%と続いている。減少率は西成区が 23.1%と最も高く、次いで大正区が 11.0%、生野区が 10.8%と続いている。

ア 出生

令和 5 年の出生数は 1 万 8828 人で、令和 4 年（1 万 9328 人）と比べると 500 人の減少となり、出生率は 6.8%となっている。

出生数を行政区別にみると、淀川区が 1346 人と最も多く、次いで城東区が 1252 人、北区が 1231 人と続いている。出生数が最も少ない行政区は大正区の 277 人となっている。

出生率では、中央区が 9.2%と最も高く、次いで福島区が 9.0%、北区が 8.6%と続いている。最も低い行政区は西成区の 4.4%となっている。

イ 死亡

令和 5 年の死亡数は 3 万 4620 人で、令和 4 年（3 万 4618 人）と比べると 2 人の増加となり、死亡率は 12.6%となっている。

死亡数を行政区別にみると、平野区が 2945 人と最も多く、次いで西成区が 2915 人、東淀川区が 2158 人と続いている。死亡数が最も少ない行政区は西区の 659 人となっている。

死亡率では、西成区が 27.5%と最も高く、次いで生野区が 16.9%、東住吉区が 15.9%と続いている。最も低い行政区は西区の 6.1%となっている。

ウ 外国人の自然動態

令和 5 年の自然動態のうち、外国人は 203 人の減少となり、令和 4 年の自然動態（412 人減）と比べると、減少幅は 209 人縮小した。

外国人の出生数は 888 人で、令和 4 年（760 人）と比べると 128 人の増加となっており、死亡数は 1091 人で、令和 4 年（1172 人）と比べると 81 人の減少となっている。

表6-1 自然動態の推移

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	対前年 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	対前年 (人)	死亡率 (%)
平成25年	△ 5,305	△ 968	△ 2.0	23,234	167	8.7	28,539	1,135	10.7
26年	△ 5,300	5	△ 2.0	22,810	△ 424	8.5	28,110	△ 429	10.5
27年	△ 5,742	△ 442	△ 2.1	22,972	162	8.6	28,714	604	10.7
28年	△ 5,530	212	△ 2.1	22,968	△ 4	8.5	28,498	△ 216	10.6
29年	△ 7,181	△ 1,651	△ 2.7	22,142	△ 826	8.2	29,323	825	10.9
30年	△ 8,280	△ 1,099	△ 3.1	21,905	△ 237	8.1	30,185	862	11.1
令和元年	△ 8,853	△ 573	△ 3.2	21,315	△ 590	7.8	30,168	△ 17	11.1
2年	△ 9,414	△ 561	△ 3.4	21,003	△ 312	7.7	30,417	249	11.1
3年	△ 12,186	△ 2,772	△ 4.4	20,363	△ 640	7.4	32,549	2,132	11.8
4年	△ 15,290	△ 3,104	△ 5.6	19,328	△ 1,035	7.0	34,618	2,069	12.6
5年	△ 15,792	△ 502	△ 5.7	18,828	△ 500	6.8	34,620	2	12.6

- 1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。
- 3 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-2 令和5年 行政区別自然動態表

行政区名	自然 増減数 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	死亡率 (%)
大 阪 市	△ 15,792	△ 5.7	18,828	6.8	34,620	12.6
北 区	146	1.0	1,231	8.6	1,085	7.6
都 島 区	△ 462	△ 4.3	632	5.9	1,094	10.1
福 島 区	△ 8	△ 0.1	723	9.0	731	9.1
此 花 区	△ 490	△ 7.6	410	6.3	900	13.9
中 央 区	285	2.6	1,013	9.2	728	6.6
西 区	238	2.2	897	8.3	659	6.1
港 区	△ 552	△ 6.9	444	5.6	996	12.5
大 正 区	△ 664	△ 11.0	277	4.6	941	15.6
天 王 寺 区	△ 3	△ 0.0	683	8.1	686	8.1
浪 速 区	△ 202	△ 2.6	523	6.6	725	9.2
西 淀 川 区	△ 671	△ 7.0	578	6.1	1,249	13.1
淀 川 区	△ 560	△ 3.0	1,346	7.3	1,906	10.3
東 淀 川 区	△ 981	△ 5.6	1,177	6.7	2,158	12.3
東 成 区	△ 571	△ 6.7	545	6.4	1,116	13.1
生 野 区	△ 1,369	△ 10.8	779	6.1	2,148	16.9
旭 区	△ 708	△ 8.0	555	6.2	1,263	14.2
城 東 区	△ 787	△ 4.7	1,252	7.4	2,039	12.1
鶴 見 区	△ 270	△ 2.4	928	8.3	1,198	10.7
阿 倍 野 区	△ 532	△ 4.8	737	6.6	1,269	11.4
住 之 江 区	△ 1,119	△ 9.5	593	5.0	1,712	14.6
住 吉 区	△ 1,124	△ 7.4	1,009	6.6	2,133	14.0
東 住 吉 区	△ 1,127	△ 8.8	897	7.0	2,024	15.9
平 野 区	△ 1,809	△ 9.6	1,136	6.0	2,945	15.6
西 成 区	△ 2,452	△ 23.1	463	4.4	2,915	27.5

- 1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-3 自然増減率、出生率及び死亡率（上位7区）

順位	自然増減率		出生率		死亡率	
	行政区名	(%)	行政区名	(%)	行政区名	(%)
1	中央区	2.6	中央区	9.2	西成区	27.5
2	西区	2.2	福島区	9.0	生野区	16.9
3	北区	1.0	北区	8.6	東住吉区	15.9
4	天王寺区	△ 0.0	鶴見区	8.3	平野区	15.6
5	福島区	△ 0.1	西区	8.3	大正区	15.6
6	鶴見区	△ 2.4	天王寺区	8.1	住之江区	14.6
7	浪速区	△ 2.6	城東区	7.4	旭区	14.2

前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-4 自然動態の推移（外国人）

年次	自然増減		出生		死亡	
	増減数 (人)	対前年 (人)	出生数 (人)	対前年 (人)	死亡数 (人)	対前年 (人)
平成25年	△ 415	△ 88	531	△ 6	946	82
26年	△ 366	49	574	43	940	△ 6
27年	△ 437	△ 71	539	△ 35	976	36
28年	△ 298	139	604	65	902	△ 74
29年	△ 279	19	644	40	923	21
30年	△ 353	△ 74	649	5	1,002	79
令和元年	△ 241	112	738	89	979	△ 23
2年	△ 194	47	792	54	986	7
3年	△ 147	47	869	77	1,016	30
4年	△ 412	△ 265	760	△ 109	1,172	156
5年	△ 203	209	888	128	1,091	△ 81

前年10月中から当年9月中の合計である。

（2）社会動態

令和5年の社会動態（転入と転出の差）は2万9505人の増加となった。令和4年の社会動態（2万1262人減）と比べると、増加幅は8243人拡大した。また、社会増減率は10.7‰となっている。

社会増減数を行政区別にみると、増加数は中央区が3398人と最も多く、次いで浪速区が2944人、北区が2342人など22区で増加となっている。減少した2区の減少数は大正区が216人、此花区が147人となっている。

社会増減率では、増加率は浪速区が37.2‰と最も高く、次いで中央区が30.8‰、西成区が21.0‰など、市域中心部で高くなっている。減少した2区の減少率は大正区が3.6‰、此花区が2.3‰となっている。

ア 転入

令和5年の転入数は22万889人で、転入率は80.1%となっている。

転入数を行政区別にみると、中央区が1万7427人と最も多く、次いで淀川区が1万6277人、北区が1万5341人と続いている。転入数が最も少ない行政区は大正区の2745人となっている。

転入率では、浪速区が178.2%と最も高く、次いで中央区が158.0%、西区が118.7%と続いている。転入率が最も低い行政区は大正区の45.5%となっている。

イ 転出

令和5年の転出数は18万9164人で、転出率は68.6%となっている。

転出数を行政区別にみると、淀川区が1万4284人と最も多く、次いで中央区が1万3812人、北区が1万2920人と続いている。転出数が最も少ない行政区は大正区の2928人となっている。

転出率では、浪速区が138.8%と最も高く、次いで中央区が125.3%、西区が98.4%と続いている。転出率が最も低い行政区は鶴見区の44.4%となっている。

ウ その他増減

令和5年のその他増減数（実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数）は、2220人減となった。

エ 外国人の社会動態

令和5年の社会動態のうち、外国人は1万4480人の増加となった。

外国人の転入及び入国数は5万1928人となっており、転出及び出国数は3万4329人で、令和4年と比べると、どちらも増加した。

表6-5 社会動態の推移

年次	社会増減			転入			転出			その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	社会 増減率 (%)	転入数 (人)	対前年 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	対前年 (人)	転出率 (%)	転出数 (人)	対前年 (人)
平成25年	11,417	284	4.3	177,364	1,855	66.3	165,947	1,571	62.1
26年	8,059	△ 3,358	3.0	178,011	647	66.5	169,952	4,005	63.4
27年	18,726	10,667	7.0	185,808	7,797	69.3	167,082	△ 2,870	62.3
28年	16,378	△ 2,348	6.1	189,981	4,173	70.6	170,232	3,150	63.3	△ 3,371	...
29年	18,305	1,927	6.8	191,414	1,433	70.8	169,774	△ 458	62.8	△ 3,335	36
30年	20,129	1,824	7.4	199,003	7,589	73.3	175,657	5,883	64.7	△ 3,217	118
令和元年	24,049	3,920	8.8	211,083	12,080	77.4	184,095	8,438	67.5	△ 2,939	278
2年	20,207	△ 3,842	7.4	206,128	△ 4,955	75.2	183,567	△ 528	67.0	△ 2,354	585
3年	10,609	△ 9,598	3.9	199,117	△ 7,011	72.3	186,443	2,876	67.7	△ 2,065	289
4年	21,262	10,653	7.7	211,952	12,835	77.1	189,050	2,607	68.7	△ 1,640	425
5年	29,505	8,243	10.7	220,889	8,937	80.1	189,164	114	68.6	△ 2,220	△ 580

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は%（パーミル）である。

3 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-6 令和5年 行政区別社会動態

行政区名	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)	転入数 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	転出率 (%)	その他増減数 (人)
大阪市	29,505	10.7	220,889	80.1	189,164	68.6	△ 2,220
北区	2,342	16.4	15,341	107.5	12,920	90.5	△ 79
都島区	1,077	10.0	7,833	72.6	6,737	62.5	△ 19
福島区	1,635	20.3	7,616	94.8	5,975	74.4	△ 6
此花区	△ 147	△ 2.3	3,335	51.6	3,418	52.8	△ 64
中央区	3,398	30.8	17,427	158.0	13,812	125.3	△ 217
西区	2,140	19.7	12,869	118.7	10,663	98.4	△ 66
港区	739	9.3	5,338	67.2	4,546	57.2	△ 53
大正区	△ 216	△ 3.6	2,745	45.5	2,928	48.5	△ 33
天王寺区	984	11.7	7,010	83.1	5,960	70.7	△ 66
浪速区	2,944	37.2	14,095	178.2	10,978	138.8	△ 173
西淀川区	1,100	11.5	6,966	73.0	5,757	60.3	△ 109
淀川区	1,855	10.1	16,277	88.3	14,284	77.5	△ 138
東淀川区	1,309	7.4	13,074	74.4	11,570	65.8	△ 195
東成区	928	10.9	7,688	89.9	6,719	78.6	△ 41
生野区	1,417	11.2	10,479	82.7	8,942	70.6	△ 120
旭区	1,036	11.7	5,766	64.9	4,682	52.7	△ 48
城東区	127	0.8	9,474	56.4	9,311	55.4	△ 36
鶴見区	191	1.7	5,142	46.1	4,950	44.4	△ 1
阿倍野区	534	4.8	7,529	67.5	6,983	62.6	△ 12
住之江区	683	5.8	6,112	52.0	5,416	46.1	△ 13
住吉区	1,132	7.4	9,492	62.4	8,338	54.8	△ 22
東住吉区	1,623	12.7	8,921	70.0	7,189	56.4	△ 109
平野区	444	2.4	9,684	51.5	9,212	48.9	△ 28
西成区	2,230	21.0	10,676	100.7	7,874	74.3	△ 572

- 1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-7 社会増減率、転入率及び転出率（上位7区）

順位	社会増減率		転入率		転出率	
	行政区名	(%)	行政区名	(%)	行政区名	(%)
1	浪速区	37.2	浪速区	178.2	浪速区	138.8
2	中央区	30.8	中央区	158.0	中央区	125.3
3	西成区	21.0	西区	118.7	西区	98.4
4	福島区	20.3	北区	107.5	北区	90.5
5	西区	19.7	西成区	100.7	東成区	78.6
6	北区	16.4	福島区	94.8	淀川区	77.5
7	東住吉区	12.7	東成区	89.9	福島区	74.4

前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-8 社会動態の推移（外国人）

年次	社会増減		転入+入国		転出+出国		その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)
平成29年	5,947	852	33,701	3,700	23,516	2,585	△ 4,238	△ 263
30年	6,485	538	37,208	3,507	27,150	3,634	△ 3,573	665
令和元年	7,611	1,126	42,917	5,709	31,803	4,653	△ 3,503	70
2年	△ 1,631	△ 9,242	32,848	△ 10,069	31,087	△ 716	△ 3,392	111
3年	△ 1,311	320	31,953	△ 895	30,185	△ 902	△ 3,079	313
4年	10,913	12,224	42,510	10,557	29,249	△ 936	△ 2,348	731
5年	14,480	3,567	51,928	9,418	34,329	5,080	△ 3,119	△ 771

社会増減数、転入+入国数、転出+出国数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

7 年齢別人口

(1) 年齢(3区分)別人口

令和5年の人口について年齢(3区分)別割合をみると、0～14歳人口(年少人口)は10.2%、15～64歳人口(生産年齢人口)は64.6%、65歳以上人口(老年人口)は25.2%となっており、15～64歳人口の割合が、令和4年(64.2%)と比べて上昇している。

表7-1 年齢(3区分)別推計人口

年次	人口(人)					割合(%)				
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
平成30年	2,725,855	293,281	1,736,951	695,623	354,860	100.0	10.8	63.7	25.5	13.0
令和元年	2,741,336	292,460	1,746,987	701,889	365,870	100.0	10.7	63.7	25.6	13.3
2年	2,752,412	291,039	1,753,884	707,489	376,454	100.0	10.6	63.7	25.7	13.7
3年	2,750,835	288,166	1,757,615	705,054	380,889	100.0	10.5	63.9	25.6	13.8
4年	2,756,807	284,599	1,771,078	701,130	389,729	100.0	10.3	64.2	25.4	14.1
5年	2,770,520	281,936	1,790,223	698,361	399,535	100.0	10.2	64.6	25.2	14.4

- 1 平成30年及び令和元年は令和2年国勢調査結果をもとに修正した各年10月1日の推計人口。
- 2 令和2年は年齢「不詳」を補完している国勢調査結果。
- 3 令和3年以降は令和2年国勢調査結果をもとに作成した各年10月1日の推計人口。

(2) 行政区別の年齢(3区分)別人口

年少人口が最も増加したのは中央区で537人、最も減少したのは平野区で561人となった。生産年齢人口が最も増加したのは中央区で2929人、最も減少したのは大正区で465人となった。老年人口が最も増加したのは西区で228人、最も減少したのは西成区で879人となった。

表7-2 行政区別の年齢(3区分)別人口

行政区名	令和5年				令和4年からの増減数			令和4年			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
大 阪 市	2,770,520	281,936	1,790,223	698,361	△ 2,663	19,145	△ 2,769	2,756,807	284,599	1,771,078	701,130
北 区	145,226	13,688	105,686	25,852	179	2,089	219	142,738	13,509	103,597	25,633
都 島 区	108,441	11,204	70,292	26,945	△ 248	684	178	107,826	11,452	69,608	26,767
福 島 区	81,975	9,672	57,215	15,088	60	1,601	△ 34	80,348	9,612	55,614	15,122
此 花 区	64,050	6,979	39,108	17,962	△ 151	△ 335	△ 152	64,687	7,130	39,443	18,114
中 央 区	113,954	10,750	86,557	16,647	537	2,929	216	110,271	10,213	83,628	16,431
西 区	110,780	12,033	82,136	16,610	102	2,048	228	108,402	11,931	80,088	16,382
港 区	79,656	7,549	50,118	21,990	△ 225	544	△ 131	79,469	7,774	49,574	22,121
大 正 区	59,465	5,699	34,464	19,302	△ 189	△ 465	△ 226	60,345	5,888	34,929	19,528
天 王 寺 区	85,291	11,489	57,121	16,681	143	624	214	84,310	11,346	56,497	16,467
浪 速 区	81,855	5,185	62,832	13,838	53	2,732	△ 43	79,113	5,132	60,100	13,881
西 淀 川 区	95,865	9,954	61,209	24,702	△ 250	795	△ 115	95,436	10,204	60,414	24,817
淀 川 区	185,709	17,380	126,897	41,433	△ 166	1,660	△ 198	184,414	17,546	125,237	41,631
東 淀 川 区	176,134	15,720	116,480	43,934	△ 260	717	△ 129	175,806	15,980	115,763	44,063
東 成 区	85,871	8,244	56,487	21,140	△ 121	736	△ 258	85,514	8,365	55,751	21,398
生 野 区	126,789	10,947	76,521	39,321	△ 65	528	△ 415	126,741	11,012	75,993	39,736
旭 区	89,200	9,184	53,575	26,441	△ 46	582	△ 208	88,872	9,230	52,993	26,649
城 東 区	167,409	19,267	105,355	42,787	△ 449	△ 109	△ 102	168,069	19,716	105,464	42,889
鶴 見 区	111,533	15,449	70,096	25,988	△ 278	163	36	111,612	15,727	69,933	25,952
阿 倍 野 区	111,565	14,039	68,825	28,701	△ 154	203	△ 48	111,563	14,193	68,622	28,749
住 之 江 区	117,159	11,478	68,137	37,543	△ 328	△ 89	△ 19	117,595	11,806	68,226	37,562
住 吉 区	152,088	15,931	92,848	43,309	△ 227	527	△ 292	152,080	16,158	92,321	43,601
東 住 吉 区	127,880	14,098	76,707	37,075	△ 10	731	△ 225	127,384	14,108	75,976	37,300
平 野 区	186,843	19,257	112,649	54,936	△ 561	△ 419	△ 386	188,208	19,818	113,068	55,322
西 成 区	105,782	6,738	58,908	40,136	△ 13	670	△ 879	106,004	6,751	58,238	41,015

年齢「不詳」を補完している国勢調査結果をもとに作成した10月1日現在推計人口。

(3) 行政区別の年齢(3区分)別人口の割合

年少人口の割合が最も高いのは鶴見区で13.9%、最も低いのは浪速区で6.3%となった。
 生産年齢人口の割合が最も高いのは浪速区で76.8%、最も低いのは西成区で55.7%となった。
 老年人口の割合が最も高いのは西成区で37.9%、最も低いのは中央区で14.6%となった。

表7-3 行政区別の年齢(3区分)別人口割合

行政区名	令和5年 (%)						令和4年からの増減数 (ポイント)			令和4年 (%)										
	総数	0~14歳			15~64歳			65歳以上			総数	0~14歳			15~64歳			65歳以上		
		0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上		0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上			
大阪市	100.0	10.2	64.6	25.2	△ 0.1	0.4	△ 0.2	100.0	10.3	64.2	25.4									
北区	100.0	9.4	72.8	17.8	△ 0.0	0.2	△ 0.2	100.0	9.5	72.6	18.0									
都島区	100.0	10.3	64.8	24.8	△ 0.3	0.3	0.0	100.0	10.6	64.6	24.8									
福島区	100.0	11.8	69.8	18.4	△ 0.2	0.6	△ 0.4	100.0	12.0	69.2	18.8									
此花区	100.0	10.9	61.1	28.0	△ 0.1	0.1	0.0	100.0	11.0	61.0	28.0									
中央区	100.0	9.4	76.0	14.6	0.2	0.1	△ 0.3	100.0	9.3	75.8	14.9									
西区	100.0	10.9	74.1	15.0	△ 0.1	0.3	△ 0.1	100.0	11.0	73.9	15.1									
港区	100.0	9.5	62.9	27.6	△ 0.3	0.5	△ 0.2	100.0	9.8	62.4	27.8									
大正区	100.0	9.6	58.0	32.5	△ 0.2	0.1	0.1	100.0	9.8	57.9	32.4									
天王寺区	100.0	13.5	67.0	19.6	0.0	△ 0.0	0.0	100.0	13.5	67.0	19.5									
浪速区	100.0	6.3	76.8	16.9	△ 0.2	0.8	△ 0.6	100.0	6.5	76.0	17.5									
西淀川区	100.0	10.4	63.8	25.8	△ 0.3	0.5	△ 0.2	100.0	10.7	63.3	26.0									
淀川区	100.0	9.4	68.3	22.3	△ 0.2	0.4	△ 0.3	100.0	9.5	67.9	22.6									
東淀川区	100.0	8.9	66.1	24.9	△ 0.2	0.3	△ 0.1	100.0	9.1	65.8	25.1									
東成区	100.0	9.6	65.8	24.6	△ 0.2	0.6	△ 0.4	100.0	9.8	65.2	25.0									
生野区	100.0	8.6	60.4	31.0	△ 0.1	0.4	△ 0.3	100.0	8.7	60.0	31.4									
旭区	100.0	10.3	60.1	29.6	△ 0.1	0.4	△ 0.3	100.0	10.4	59.6	30.0									
城東区	100.0	11.5	62.9	25.6	△ 0.2	0.2	0.0	100.0	11.7	62.8	25.5									
鶴見区	100.0	13.9	62.8	23.3	△ 0.2	0.2	0.0	100.0	14.1	62.7	23.3									
阿倍野区	100.0	12.6	61.7	25.7	△ 0.1	0.2	△ 0.0	100.0	12.7	61.5	25.8									
住之江区	100.0	9.8	58.2	32.0	△ 0.2	0.1	0.1	100.0	10.0	58.0	31.9									
住吉区	100.0	10.5	61.0	28.5	△ 0.1	0.3	△ 0.2	100.0	10.6	60.7	28.7									
東住吉区	100.0	11.0	60.0	29.0	△ 0.1	0.3	△ 0.3	100.0	11.1	59.6	29.3									
平野区	100.0	10.3	60.3	29.4	△ 0.2	0.2	0.0	100.0	10.5	60.1	29.4									
西成区	100.0	6.4	55.7	37.9	0.0	0.7	△ 0.7	100.0	6.4	54.9	38.7									

表7-4 年齢(3区分)別人口割合(上位7区)

順位	0~14歳		15歳~64歳		65歳以上	
	行政区名	割合(%)	行政区名	割合(%)	行政区名	割合(%)
1	鶴見区	13.9	浪速区	76.8	西成区	37.9
2	天王寺区	13.5	中央区	76.0	大正区	32.5
3	阿倍野区	12.6	西区	74.1	住之江区	32.0
4	福島区	11.8	北区	72.8	生野区	31.0
5	城東区	11.5	福島区	69.8	旭区	29.6
6	東住吉区	11.0	淀川区	68.3	平野区	29.4
7	此花区	10.9	天王寺区	67.0	東住吉区	29.0

令和5年10月1日現在の人口に対する割合である。

表7-5 年齢(3区分)別人口割合の変化(上位7区)

順位	0~14歳		15歳~64歳		65歳以上	
	行政区名	変化(ポイント)	行政区名	変化(ポイント)	行政区名	変化(ポイント)
1	中央区	0.17	浪速区	0.79	住之江区	0.10
2	天王寺区	0.01	西成区	0.75	大正区	0.10
3	西成区	0.00	東成区	0.59	鶴見区	0.05
4	北区	△ 0.04	福島区	0.58	此花区	0.04
5	東住吉区	△ 0.05	西淀川区	0.55	城東区	0.04
6	生野区	△ 0.05	港区	0.54	天王寺区	0.03
7	旭区	△ 0.09	旭区	0.43	都島区	0.02

令和4年10月1日現在の人口割合に対する令和5年10月1日現在における人口割合の変化である。

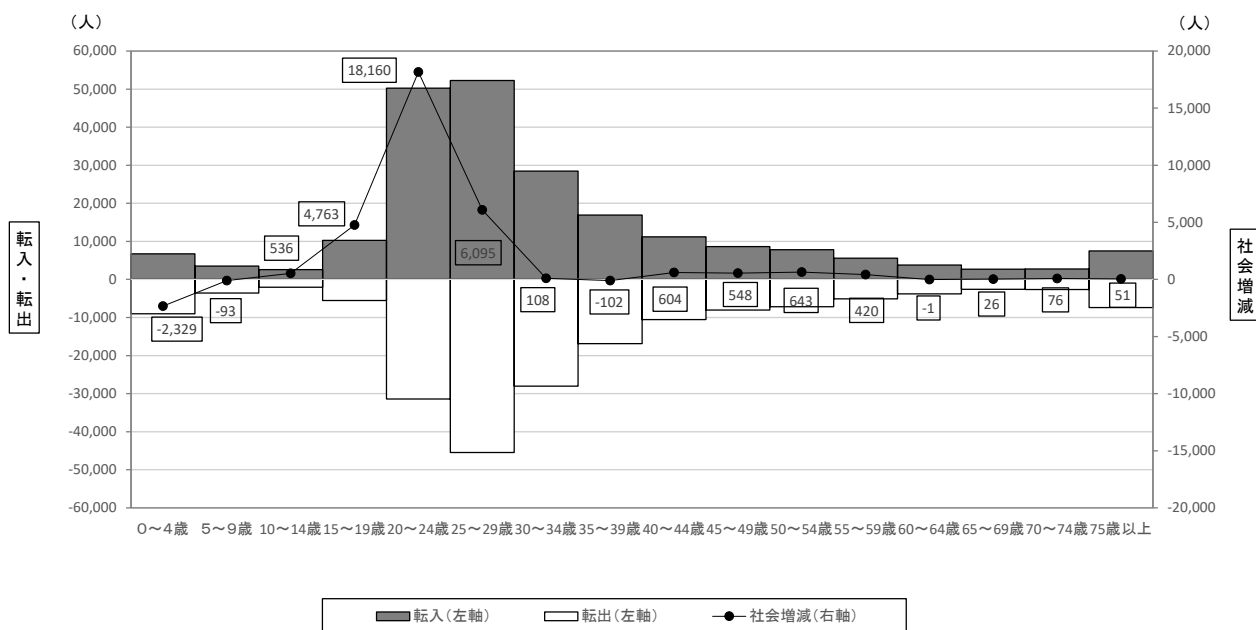
(4) 年齢(5歳階級)別社会動態

令和5年の社会増減を年齢(5歳階級)別にみると、15歳から29歳までの各階級で大きく増加しており、特に「20～24歳」では1万8160人の増加となった。また、0歳から9歳までのこども層は減少しており、特に「0～4歳」の減少数は2329人と、他の年齢階級と比べて、減少幅が大きくなっている。

表7-6 年齢(5歳階級)別転入、転出、その他増減及び社会増減数

(人)									
	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
転入	220,889	6,747	3,497	2,604	10,258	50,231	52,236	28,444	16,901
転出	189,164	9,035	3,572	2,059	5,508	31,383	45,458	28,033	16,885
その他増減	△ 2,220	△ 41	△ 18	△ 9	13	△ 688	△ 683	△ 303	△ 118
社会増減	29,505	△ 2,329	△ 93	536	4,763	18,160	6,095	108	△ 102
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	(再掲)15～29歳
転入	11,189	8,657	7,840	5,567	3,788	2,689	2,758	7,483	112,725
転出	10,523	8,055	7,157	5,108	3,761	2,613	2,637	7,377	82,349
その他増減	△ 62	△ 54	△ 40	△ 39	△ 28	△ 50	△ 45	△ 55	△ 1,358
社会増減	604	548	643	420	△ 1	26	76	51	29,018

図4 年齢(5歳階級)別社会動態



(5) 行政区別の年齢(5歳階級)別社会動態

行政区別の年齢(5歳階級)別社会増減は次表のとおりである。大阪市全体の社会増減を年齢(5歳階級)別にみた場合に特に増加が多い「20～24歳」の増加数を行政区別にみると、淀川区が2181人と最も多く、次いで浪速区が2112人、中央区が1716人と続いている。また、大阪市全体では減少となっている「0～4歳」及び「5～9歳」の両階級について、行政区別にみると、天王寺区、阿倍野区の2区で転入超過となっている。

表7-7 行政区別の年齢(5歳階級)別社会増減数

行政区名	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
大阪市	29,505	△ 2,329	△ 93	536	4,763	18,160	6,095	108	△ 102
北区	2,342	△ 366	△ 49	56	313	1,586	768	70	△ 43
都島区	1,077	△ 77	△ 14	18	182	811	273	△ 76	△ 4
福島区	1,635	△ 102	△ 9	4	62	896	439	114	42
此花区	△ 147	△ 12	△ 37	△ 5	102	114	△ 17	△ 124	△ 34
中央区	3,398	△ 120	96	102	292	1,716	525	215	245
西区	2,140	△ 132	△ 26	11	148	1,657	390	221	△ 33
港区	739	△ 86	△ 1	22	124	596	198	24	△ 20
大正区	△ 216	12	△ 13	1	44	31	△ 51	1	△ 39
天王寺区	984	23	90	64	151	304	115	△ 8	67
浪速区	2,944	△ 196	△ 28	17	463	2,112	757	△ 144	△ 87
西淀川区	1,100	△ 30	△ 12	4	119	658	300	94	16
淀川区	1,855	△ 330	△ 45	24	437	2,181	489	△ 330	△ 215
東淀川区	1,309	△ 200	△ 38	△ 30	469	1,193	△ 16	△ 192	△ 58
東成区	928	△ 108	△ 2	17	187	742	178	△ 31	△ 49
生野区	1,417	△ 93	19	21	385	786	139	△ 11	△ 52
旭区	1,036	△ 20	36	30	100	334	319	62	5
城東区	127	△ 228	△ 63	△ 4	73	327	187	△ 97	△ 74
鶴見区	191	△ 26	△ 17	0	△ 15	53	163	95	△ 25
阿倍野区	534	2	47	0	138	212	119	48	99
住之江区	683	△ 9	△ 14	34	83	215	21	118	△ 6
住吉区	1,132	△ 118	△ 6	50	177	444	367	8	△ 8
東住吉区	1,623	0	15	51	201	420	194	50	156
平野区	444	△ 98	△ 39	△ 5	155	117	114	△ 54	△ 34
西成区	2,230	△ 15	17	54	373	655	124	55	49
行政区名	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	(再掲)15～29歳
大阪市	604	548	643	420	△ 1	26	76	51	29,018
北区	△ 5	62	52	29	△ 37	△ 14	△ 32	△ 48	2,667
都島区	11	△ 3	△ 1	△ 7	△ 7	△ 12	△ 7	△ 10	1,266
福島区	106	11	47	55	5	△ 13	△ 19	△ 3	1,397
此花区	△ 23	△ 57	11	△ 10	5	△ 11	△ 4	△ 45	199
中央区	115	207	65	16	△ 11	△ 2	△ 16	△ 47	2,533
西区	△ 35	△ 23	△ 9	5	△ 25	16	△ 19	△ 6	2,195
港区	△ 8	△ 8	△ 8	△ 3	△ 13	△ 9	1	△ 70	918
大正区	△ 23	△ 31	△ 10	△ 24	△ 17	△ 26	△ 17	△ 54	24
天王寺区	119	40	9	29	△ 10	△ 5	△ 6	2	570
浪速区	19	42	11	14	△ 6	△ 4	△ 16	△ 10	3,332
西淀川区	△ 41	△ 23	△ 2	4	△ 25	△ 7	△ 5	50	1,077
淀川区	△ 10	△ 20	1	△ 2	△ 34	△ 57	△ 31	△ 203	3,107
東淀川区	0	3	59	42	△ 4	13	37	31	1,646
東成区	16	28	44	5	4	△ 29	△ 23	△ 51	1,107
生野区	56	34	△ 10	42	△ 4	8	△ 6	103	1,310
旭区	40	47	42	32	23	3	△ 8	△ 9	753
城東区	52	△ 32	△ 28	△ 26	21	29	0	△ 10	587
鶴見区	△ 33	△ 11	△ 23	△ 12	△ 17	18	28	13	201
阿倍野区	8	△ 24	△ 21	19	8	△ 20	△ 46	△ 55	469
住之江区	18	4	42	48	24	1	14	90	319
住吉区	41	74	85	29	1	2	33	△ 47	988
東住吉区	83	76	97	32	26	3	48	171	815
平野区	△ 47	△ 7	67	△ 24	5	37	72	185	386
西成区	145	159	123	127	87	105	98	74	1,152